



福井市総合ボランティアセンター 総ボラ通信

2023年
9月発行
vol.30

開催された講座を紹介します！

総合ボランティアセンターでは、市民のボランティア参加へのきっかけづくりや、市民活動団体を支援する講座を年間通して実施しています。今回は、6月から8月に開催されたものから紹介します。

高齢者について学びボランティアにつなげる

「高齢者支援ボランティアははじめの一步」 講師：県民せいきょう きらめき



キャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師）として地域で幅広く活躍している県民生協きらめきの植田氏と辻本氏を講師に招き、高齢者支援ボランティアでの大切なポイントを学びました。講義には、認知症の方に寄り添う支援者になるための「認知症サポーター養成講座」が含まれていました。

また、高齢者疑似体験装具（特殊眼鏡や手足の重りなど）を装着し日常生活動作をすることで、加齢による身体的変化や高齢者の気持ちやコミュニケーションの取り方を体験的に学びました。受講者からは、「認知症について知ることができ、機会があればサポートしたい」など、コロナ禍で停滞した高齢者支援ボランティアの再開に向け、積極的な感想が聞かれました。

趣味や特技をボランティアに生かす

「スポーツボランティアをはじめよう」「やさしく教える折り紙講座」

講師：福井県卓球バレー協会 斎門豊氏

講師：折り紙ボランティア ブーケ茶論さろん

高校生を対象にボランティアの基本概念を学び、審判補助、点数係、対戦相手、球拾いなどのスポーツボランティアを体験する講座を開催しました。視覚障がい者の清水さんがプレイヤーとして特別参加し、障がいの有無に関係なく楽しめるユニバーサルスポーツの一面に触れることができました。

また、講座の最後には、県ふくい桜マラソン課から来年3月に開催される「ふくい桜マラソン2024」のボランティア募集についての説明がありました。

受講者からは、「ボランティアにおいて何が大切なのかを知ることができて、とても有意義な時間になった」「スポーツを支えることの面白さを知ることができた」との感想を聞くことができました。

折り紙ボランティアとして福祉施設や自治会型デイホームで活動している「ブーケ茶論」のメンバー12名の協力のもと、折り紙を折るだけでなく、高齢者や子どもへの伝え方のポイントを学ぶ講座を開催しました。大事なことは目を見て、手を添えて、相手に寄り添って接することであり、受講者は、扇や額飾りを作製するブースをまわりながら、季節を感じる折り紙作品を仕上げていきました。

受講者からは、「教える手順が、とても勉強になった」「コミュニケーションをとりながら折るのが楽しい」という感想もあり、高齢者施設や児童クラブ等でのボランティア活動につながっていくことを期待します。





市民活動団体の広報力を高める

「手描きチラシの作り方講座」 講師：トンデモ図書館伊藤堂 室長 伊藤ゆか氏



プロのイラストレーター伊藤氏から、市民活動の広報に役立つ手描きのノウハウやチラシ作成のポイントを教わる講座を開催しました。

実技として、講師から提供されたテーマで餅つき大会のイベントチラシを作成しました。完成した作品を見せ合い、良い点を言い合うことが、参加者の良い刺激となったようです。

受講者からは、「印刷するとマス目が消えるコピー用箋は便利で、これからは手描きで作ってみたいと思った」「みなさんの作品を見て、パソコンで作ったチラシより手描きの方が目を引くことを実感した」などの感想が聞かれ、今後の市民活動団体の効果的な広報手段の一つとして活用されることを期待します。

体験を通して団体の活動を知る

「ホタルふるさと教室」 講師：NPO 法人日本ホタル再生ねっと 理事長 草桶秀人氏

NPO 法人日本ホタル再生ねっとの草桶氏を講師に招き、団体が取り組んでいる環境保全活動や SDGs への取組等について学びました。受講者は、講義を聴きながら団体が普段取り組んでいる水質調査等を体験し、その後未更毛川でホタル観賞を行いました。

講座を通して、環境保全がホタル保全へとつながっていること、ホタルが舞う景色を後世へ残していくために自分たちが取り組むべきことを学ぶことができました。

受講者からは、「生物に関しての理解が深まり、自身の進路の参考になった」「ホタルを守っていくための活動が必要だと思った」などの感想が聞かれ、この講座による、ホタルを通じた環境保全への意識の高まりと、団体が行う活動への興味につながることができたと感じています。



さくらんぼ児童館でボランティア講座を開催しました！

総合ボランティアセンターが行っている出前講座「はじめてのボランティア」に、さくらんぼ児童館を利用している小学1～4年生の児童20名が受講し、ボランティアをする上で大切なことや守ってほしいこと、どんなボランティアがあるのか等を学びました。

多くの児童が「ボランティア」という言葉を知っており、自分たちがこれまでに行ったボランティアや、知っているボランティアについて元気に発表をしてくれました。

グループワークでは、りんごの形の付箋に、公園の清掃や地域の雪かきなど、これから参加してみたいボランティアを書き、実が無かった木にたくさんのりんごが実り、とても賑やかなボランティアツリーが完成しました。



9月は防災月間です

9月の防災月間に合わせ、当センターの災害ボランティアに関する事業および市民活動団体が行う災害時に役立つ取組について紹介します。



「災害ボランティアセンター開設・運営訓練」を実施しました

災害ボランティアセンター（以下、災害 VC）は、災害が発生した際、被災地に寄せられたボランティアの力を被災者のもとに届けるための調整を行う組織です。市内7つの団体が福井市災害ボランティアセンター連絡会を構成し、有事の際に災害 VC を迅速に設置できるよう、訓練や研修を行っています。



6月25日の総合防災訓練では、災害 VC 開設・運営訓練を清水南小学校で実施しました。福井市で最大震度7を観測する地震が発生したことを想定し、大規模災害時における災害 VC の対応、市民の方への説明方法、運営の流れを確認しました。多くの市民の方にも参加いただき、災害発生時には災害 VC が大きな力になること、被災した場合には災害 VC に相談することを知っていただくことができました。

「災害とボランティアパネル展」(6/24~7/23)

福井地震(6/28)、福井豪雨(7/18)の発災日にちなみ、過去の災害と災害ボランティア活動を周知することを目的とした、パネル展を開催しました。特に今回は福井地震発災から75年を迎えることから、福井地方気象台及び戦災震災の歴史を次世代につなげる活動を行っている「木曜お堀の会」のご協力のもと、福井地震に関する多くの資料を展示しました。

延べ1,500人を超える方にご覧いただき、災害と災害ボランティア活動について理解を深めていただくことができました。



～発達障害、知的障害のある方の避難生活を円滑に～「災害時手帳 らいと」

一般社団法人らいと（以下「らいと」という。）は、知的障害や発達障害のある方の地域での安心した暮らしを支えるための活動を行っています。

障がいのある方が、災害時に避難所を気軽に利用できず、孤立してしまう問題に注目し「災害時手帳らいと」が作成されました。

この手帳は、災害時のことについて知り、災害時に必要な行動ができることで、少しでも安心した生活が送れるようにと作成された携帯用の手帳です。

手帳のサイズはこのくらいです！

はがきサイズで、災害時にしてほしい配慮や服用している薬を書き込むほか、災害時に役立つ情報サイトや、避難所でのやりとりが円滑に進むよう「トイレ」「のみたい」「いたい」などイラストを指差し会話ができるページを設けています。

らいととは、障がいのあるご本人が“自分で決めた、自分のしたい暮らし”があたりまえの社会となるよう、この手帳の作成をはじめとした様々な取組を行っています。

災害時手帳は、らいとのホームページ (URL:3raito.com) からダウンロードして利用いただけます。



わかりやすいイラストや指差し表などを掲載



開業まであと150日
2024年春、北陸新幹線 ついに福井へ。

クリーンアップ作戦 参加者募集！

秋の行楽シーズン前に、県都の玄関口である福井駅周辺等の清掃活動を行います。
「清潔で美しいまち福井市」で来訪者をおもてなししましょう！

と き 9/24(日) 8:30~10:00 (雨天中止)
 集合場所 福井市中央公園 申込締切 9/17(日)
 問合せ・申込先 クリーンアップ作戦実行委員会事務局
 (市民協働・ボランティア推進課)



まち美化パートナーパネル展

まち美化パートナー制度とは、市民と市がお互いの役割分担を定め、協働して、公園や河川の美化活動を行う制度です。この制度を活用しているグループの活動の様子を、パネルで紹介します。

- 1 9/26(火)~10/8(日) 総合ボランティアセンター(ハピリン4F)
- 2 10/10(火)~10/14(土) しあわせ広場(ハピリン2F)

現在、85団体
が活動中です！



「ふくい市民活動基金」へのご協力をお願いします！

ふくい市民活動基金は、事業者や市民の皆様からいただいたご寄附をもとに、市民活動団体が行う公益的な活動や小中学生が行うボランティア活動を支援するために設けられました。

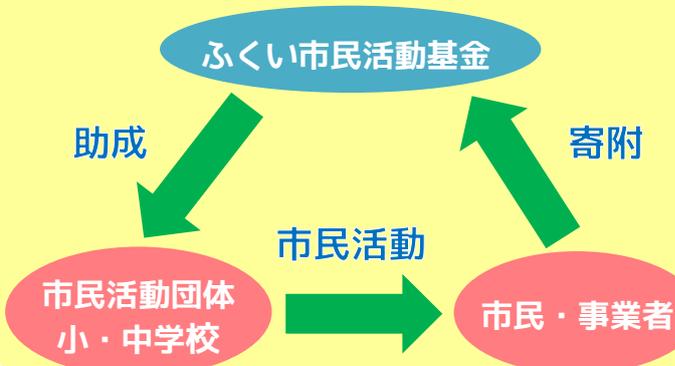
市民活動を社会全体で支えるため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



詳細は、右のQRコードからご覧ください！
ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください。



基金の流れ



福井市総合ボランティアセンター

〒910-0006 福井市中央1丁目2-1ハピリン4階 【開所時間】 火曜～金曜日 9時から21時
 福井市市民協働・ボランティア推進課 土曜日・日曜日 9時から17時
 TEL:0776-20-5107 FAX:0776-20-5168 【休所日】 月曜日、祝日、年末年始
 E-mail:volunteer@city.fukui.lg.jp (祝日が土日の場合は開館)

ボランティアネット をご活用ください！



- あなたにあった活動が見つかります！
- ボランティアの情報がわかります！
- 講座や交流会に参加できます！
- 交流ひろばや研修室がつかえます！
- チラシやポスターが印刷できます！